



みさかえの園でのダウン症児・者の外来内容

● 新生時期・乳児期・幼児期

遺伝カウンセリング、合併症のチェック、採血(甲状腺など)、リハビリ、集団療育、就園相談、福祉手続き など

● 学童期

就学相談、合併症のチェック、採血(甲状腺など)、リハビリ、福祉手続など

● 青年期

精神的問題対策、合併症のチェック、採血(甲状腺など)、福祉手続きなど

● 成人期以降

精神的問題対策、合併症のチェック、採血(甲状腺など)、福祉手続きなど

小さい時はリハビリが中心であるように思われる。家族支援はいつの年代でも重要である。甲状腺機能異常症は、唯一、機能亢進が進んだ時には体重減少があるが、検査をしないと分からないことが多い。高尿酸血症も同様。起立性低血圧は学童以上である。排尿障害、退行様症状も注意が必要。年齢が高くなると、けいれん発作、精神状況悪化、QOL低下、排尿障害が大きな問題となりえる。